

当面の技術対策（畜産編）

令和5年8月15日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部

1. 二番草収穫後のギシギシの駆除

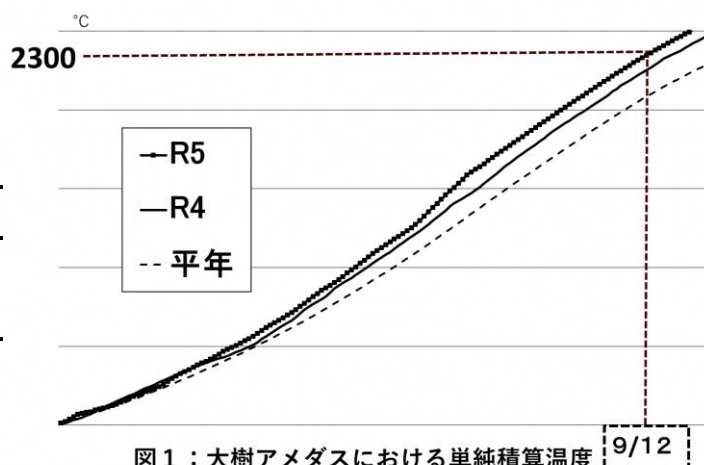
エゾノギシギシが旺盛なほ場が増えました。収穫前に防除が必要なほ場を選定しておくことが必要です。除草剤散布の目安は、ギシギシの葉が手のひらくらいの大きさに展開し、草丈15cm～20cmに生長した頃です。

2. サイレージ用とうもろこしの収穫適期が早まる可能性があります！

平年、5月1日からの単純積算気温が約2,300度で黄熟期を迎えます（図1）。このまま登熟が進むと、黄熟期は9月中旬になる見込みで、収穫適期が平年よりも早くなります（表1）。今後の気温によっては登熟がさらに4～5日早く進む可能性もあります。早めの収穫準備が必要です。

表1 登熟状況の予想

	黄熟期
本年	9月12日頃？
平年	9月25日



3. サイレージ用とうもろこしの倒伏のリスクに注意！

本年は、は種後の低温とそれに続く極度の乾燥状態、近年まれに見る夏場の高温とわき芽の出現などにより、茎や根の病気が発生しやすい条件です。今後、激しい降雨の回数が増加すると、さらにそのリスクが高まります。

これらは、一夜の強風で折損、倒伏するリスクがあります。

以下を参考に、早期発見が必要です。発生リスクが高いほ場は、優先して収穫してください。

- ① 過去に症状が発生したほ場
- ② 茎の基部を鎌で縦に切ると、褐変している
- ③ 茎を指で押すとつぶれやすい
- ④ 根が弱り手で株を抜くことができる
- ⑤ 子実が垂れ下がる（すぐに収穫を！！）

